



Science & Global vol.21

出雲高校では、今年度もSSH・SGH事業として、校内外で様々な先進的取り組みを行ってきました。2022年度から年次進行で始まる新しい学習指導要領では、「何を学ぶか」という学びの内容についての見直しに加え、「何ができるようになるか」（育成を目指す資質・能力）に視点が置かれ、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成や、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養といった理念がより明確化される予定です。また、そのために「どのように学ぶか」という点においては、AL（アクティブ・ラーニング）などの手法を用いて「主体的・対話的で深い学び」を実現させることが求められ、学校はより一層「社会に開かれた」教育機関としての役割を求められます。出雲高校で現在行っているSSH・SGHの取り組みは、その先取りに他なりません。その中心的な学習活動となる第2学年の課題研究も、努力の末に成果がまとまりました。将来の地域・社会のリーダーとしての人材を育成するための貴重な機会として、是非とも来月開催する「SSH・SGH研究成果発表会」をご覧ください、厳しくも温かい視点に立ったご意見を頂戴いただくと幸いです。

★地域のNPO法人が主催する多文化共生イベントの企画・運営に協力しました★

11月12日（日）、出雲市役所南側の「だんだん広場」において、NPO法人エスペランサが主催する「いずも多文化にぎわい交流広場」が行われ、本校生徒有志が企画・運営スタッフとしてボランティアの協力をしました。同法人は、地域に住む外国にルーツを持つ方の生活を支援する団体で、昨年度から本校生徒有志が様々な形で携わり、地域の多文化共生を実現する活動を行っています。今回のイベントは、6月に行われた同イベントに引き続き、今年度2回目の開催となりました。



当日は好天にも恵まれ、たくさんの地域の方が来場し、大盛況となりました。本校生徒は朝早くから準備に携わり、会場の一角に設けられた「こどもの遊び広場」ではたこ揚げや紙相撲などで、来場した子どもたちを楽しませていました。また、本校ダンスチームのPFCはステージ発表を行い、会場を盛り上げました。生徒たちにとっては、地域と関わり、地域に根ざした活動を行うことで、社会に貢献することの喜びを感じることができた1日となりました。

★高校生ワークショップ「ふるさと島根」を行いました★

11月14日（火）、出雲高校を会場に山陰中央新報社が企画する「ふるさと島根」と題したワークショップが行われ、2年生17名が参加しました。この企画は、島根県教育魅力化特命官の岩本悠氏と奥出雲町地域振興課の三成由美氏をコーディネーターとして、生徒がグループに分かれてディスカッションを行い、今後の島根県のあり方について高校生の視点で意見をまとめていこうというものです。

参加した生徒は、グループごとにポスターに意見をまとめ、順番に発表しながら議論を深めました。この模様は、山陰中央新報の元旦特別版に見開き2面で大きく紹介され、「ふるさと島根」への本校生の思いを山陰各地に届けることができました。



★2年理数科「課題研究成果発表会」を行いました★

1月15日（月）、2年理数科が学校設定科目「SS探究B」で行った課題研究の成果発表会を行いました。当日は、生徒の研究活動に対し指導・助言をいただいた島根大学大学院総合理工学研究科・医学部医学科の先生方や、国立研究開発法人科学技術振興機構主任調査員、島根県教育委員会指導主事及び外国語指導助手の皆様方をお迎えし、1年理数科生徒も聴講に加わりました。発表する生徒は研究内容を全て英語で表現し、聴講する来賓の方々や生徒からは闊達に質問がなされ、とても有意義な時間となりました。



★2年普通科「課題研究ゼミ別成果発表会」を行いました★

1月29日（月）と30日（火）の2日間、2年普通科が学校設定科目「SS探究A」「SG探究」で行った課題研究のゼミ別成果発表会を行いました。当日は、これまでテーマ設定や中間発表会等様々な場面において、研究活動の指導をいただいた島根大学の先生をはじめとした外部指導教員の方を多数お招きし、生徒の発表に対して意見や感想をいただきました。日本の伝統芸能について研究したグループの発表に対しては、研究活動にご協力いただいた安

来節保存会湖陵支部の方から、生徒に対して心のこもった温かい励ましの言葉をいただきました。課題研究を通して高校生と地域の結びつきを実感できる、大変有意義な機会となりました。

このゼミ別発表会のあと、各ゼミから選ばれた優秀作品の中からさらに3作品が選ばれ、2月8日(木)の「SSH・SGH研究成果発表会」でステージ発表する予定です。



開催案内

平成29年度SSH・SGH研究成果発表会

○日 時 平成30年2月8日(木) 9:45~16:15

○会 場 出雲高校 第1・第2体育館

○参加者 本校第1・2学年生徒全員、教職員、保護者(希望者)、SSH並びにSGH運営指導委員、校外連携機関関係者、全国SSH並びにSGH指定校関係者、県内教育関係者 ほか

○日 程

9:15~9:45	受付(一般来場者は第2体育館)
9:45~10:00	開会行事
10:00~12:00	ステージ発表 課題研究発表(2年理数科3班、2年普通科3班) 海外研修報告(2年理数科シンガポール、2年普通科サンタクララ) サイエンスキャンプ研修報告
12:00~13:00	休憩
13:00~14:30	課題研究ポスター発表(学年別会場に分かれて実施) 1年生:第1体育館 全学科 調査・探究活動 64班 2年生:第2体育館 理数科 課題研究 8班 普通科 課題研究 27班 普通科 課題研究 28班
14:40~16:00	特別講演「生活の中の科学 ~分子のかたちと機能~」 講師:島根大学大学院総合理工学研究科 准教授 飯田拓基氏
16:00~16:15	閉会行事

○参 加 参加をご希望の方は本校教育開発部までご連絡ください。Tel. 0853 (21) 0008

【スーパーサイエンス(SS)関連課題研究(研究テーマ例)】

- <2年理数科>
 - ・植物毒の抗がん効果
 - ・イオンの多く含まれた水は血圧上昇をとめられるか
- <2年普通科理系クラス>
 - 数理情報ゼミ ・渋滞を公式化して渋滞を解決する方法を導き出す
 - 生物科学ゼミ ・蜘蛛の糸の強度は環境によって変化するのか
 - 環境科学ゼミ ・来待石の粒度に伴う吸着効率の変化はどのようになっているのか
 - 生活科学ゼミ ・わたしたちがより“美肌”になるためには
- <1年理数科・普通科>
 - 共通テーマ「地元“島根”のために、現代の科学技術を応用してできること」

【スーパーグローバル(SG)関連課題研究(研究テーマ例)】

- <2年普通科文系クラス>
 - 国際政治・経済ゼミ ・出雲市で外国人未就学児の住みよい暮らしを実現させるには
 - 環境・エネルギー・食農ゼミ ・「無料スーパー」でフードロスを低減できるか
 - 地域文化・多文化共生ゼミ ・外国人がより過ごしやすい出雲にするためにはどうすればよいか